

*下線部：2012年3月改訂

使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。



ベンザ[®]E-A

トラネキサム酸・ヘスペリジン配合 総合かぜ薬
特 徴
第2類医薬品

- のどの痛み・ハレを抑えるトラネキサム酸と、柑橘類などに含まれるビタミンPの一種であるヘスペリジンを配合した総合かぜ薬です。
- かぜの初期などによくみられる「のどの痛み」「鼻水」などによく効きます。
- 解熱鎮痛成分アセトアミノフェンをはじめ7種の成分がバランスよくはたらいて、かぜのいろいろな症状を緩和します。
- 服用しやすい淡黄色小型のカプレット(錠剤)で、ご家族(7歳以上)のみなさまで服用いただけます。

⚠ 使用上の注意
⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1)本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去たん薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗り物酔い用薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬等)、トラネキサム酸を含有する内服薬

3. 服用後、乗り物または機械類の運転操作をしないこと

(眠気等があらわれることがある。)

4. 服用前後は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと

相談すること
1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1)医師または歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3)授乳中の人。
- (4)高齢者。
- (5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6)次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- (7)次の診断を受けた人。

心臓病、肝臓病、高血圧、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、糖尿病、甲状腺機能障害、血栓のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎)、血栓症を起こすおそれのある人

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ
精神神経系	めまい
呼吸器	息切れ、息苦しさ
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症*	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない*等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害*	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。*
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

(裏面へ続く)

症状の名称	症 状
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
下痢、口の渇き、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効 能

かぜの諸症状(のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、悪寒、発熱、頭痛、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

次の量を、食後なるべく30分以内に、水またはお湯で、かまずに服用すること。

年 齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	2錠	3回
7歳～14歳	1錠	
7歳未満	服用しないこと	



<用法・用量に関連する注意>

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 用法・用量を厳守すること。
- カプレット(錠剤)の取り出し方(PTP品について)
図のようにカプレットの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。
(誤ってそのままのみこんだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)



成 分

6錠(15歳以上の1日服用量)中

はたらき	成 分	含 量
熱をさげ、痛みを和らげる	アセトアミノフェン	900mg
鼻水・くしゃみを和らげる	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	3.5mg
せきを和らげる	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	48mg
	dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg
頭痛を和らげる	無水カフェイン	75mg
ビタミン類(ビタミンPの一種)	ヘスペリジン	60mg
のどの痛みを和らげる	トラネキサム酸	420mg

添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、セルロース、クロスカルメロースNa、ステアリン酸Mg、トウモロコシデンプン

保管および取扱い上の注意

ビン入り品、PTP品について

- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。
- 箱やビンの「開封年月日」記入欄に、ビンや内袋(アルミの袋)を開封した日付を記入すること。
- 一度ビンまたは内袋(アルミの袋)を開封した後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。



ビン入り品について

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- ビンの中の詰め物は、フタをあけた後はすてること(詰め物を再びビンに入れると湿気を含み品質が変わるものになる。詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するためのものである)。
- 服用のつどビンのフタをしっかりとしめること(吸湿し品質が変わる)。

PTP品について

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー「お客様相談室」
〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号 ☎0120-567087
受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

- タケダ健康サイト(パソコン用) <http://takeda-kenko.jp>
- タケダ健康モバイルサイト(携帯電話用) <http://tkdm.jp>

製造販売元  **武田薬品工業株式会社**

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号